

アンリツカスタマーサポート株式会社では、アンリツ株式会社より納入された電子計測器を常に最適な状態でご使用していただくため、修理・校正の保守サービス、お客様の製品の信頼性や品質を高めるため、EMC・HALT・振動試験の試験サービスと通信に関するお困りごとを解決する測るサービスを提供します。

アンリツカスタマーサポート株式会社

電子計測器の修理・校正サービス、試験サービスおよび測るサービスの詳細については、当社のホームページ
(URL: <https://www.anritsu.com/ja-JP/anritsu-customersupport>
または、「アンリツカスタマー」で検索)をご覧ください。

修理・校正サービス

- 短い納期で高品質な修理・校正サービスの提供を実現するために、機種群別のグループに編成され専門のトレーニングを受けたサービスエンジニアを配置しています。
- 国家または国際標準にトレーサブルな校正サービスに対応するため、それらの標準にトレースされた標準器群を維持・管理しています。
また、計量法に基づくJCSS(校正事業者登録制度)の登録事業者(登録番号: 0054)として、あるいはA2LA(米国試験所認定協会)認定(Certificate# 3128.01)として、ISO/IEC 17025適合校正に対応しています。
- 校正サービスは、お客様よりお引き取り後、標準で10営業日に返送いたします。
- 修理サービスを迅速に行うため、サービス部門では電子部品・機械部品を各種取り揃えています。

試験サービス

- ISO/IEC17025に基づくNVLAP認定試験所です。EN規格やFCC規格の適合試験を10 m法 電波暗室 2基で実施しており、先新の設備と専門技術員により、国際規格および国内外の法令に基づいたEMI(電磁妨害)・EMS(イミュニティ)試験をお引き受けいたします。
- 3軸大型振動試験機を使用した振動試験や、被試験物に対して仕様を超える温度・振動ストレスを加えて機器に潜在する故障要因を早期に発見し、信頼性を向上させるためのHALT試験もお引き受けいたします。



EMCセンター(R&D館内)

測るサービス

- 無線・有線問わずあらゆる通信に関する技術支援・被試験装置評価・環境調査などは当サービスをご利用ください。お客様のお困りごとを解決いたします。
- 最適な測定器の選定や測定方法、測定結果のまとめなどの作業を代行します。
 - 当社にて作成した提案書をもとにお客様と相談し、測定仕様(概要)を決定するため、お客様の様々なご要求に沿ったカスタマイズ測定ができます。
 - 測定に必要な機材を当社で準備するため、お客様の設備保有を最低限にできます。

修理・校正サービスの内容

修理サービス

購入されたアンリツ製の電子計測器に故障が発生した場合、お客様の依頼により復旧作業を目的に行うもので、「引き取り修理サービス」と「出張修理サービス」があります。

校正サービス

お使いの電子計測器を常に高精度・高品質の状態でご使用していただくことを目的に行うもので、校正作業後には校正済みラベル(校正年月を記載)を貼りつけています。
校正サービスには、「引き取り校正サービス」と「出張校正サービス」があります。

- 校正メニュー
標準校正のほか、指定校正、電波法に基づく登録検査等校正、ISO/IEC 17025(JCSS認定、A2LA認定)校正、電気通信事業法に基づく較正、EMCアンテナ校正の6種類のメニューがあります。
- アンリツ製品以外の校正サービス
電子計測器メーカーの保守サービス部門として長年の経験をもとに、アンリツ製品以外の校正もお引き受けします。
- 校正証明書の発行
校正に使用した計測器の一覧表と、校正結果の校正証明書を発行します。また、オプションとして、次の校正証明書を用意しています。

個別トレーサビリティチャート:

製品に直結した主な計測器・標準器を記載する証明書で、校正した計測器から国家標準機関、公共検査機関、または外部校正機関までのトレーサビリティを示す計測器・標準器一覧表、遷移図を添付します。



サービスセンター

保守契約サービス(Cal割)

保守契約サービスは、一定の料金で契約をさせていただき、定期的に保守・校正を行います。詳細は、別途契約で定める内容によります。なお、当社の都合によりお受けできない製品がありますので、あらかじめご了承ください。

一括校正

アンリツ製品以外の製品もまとめて一括で校正をお受けしますので、計測器メーカーごとに校正を依頼する煩わしさから解放されます。

エクスプレス校正

緊急の設備校正や設備の運用効率向上のサポートをさせていただきます。往復の輸送期間を含め、事前にお約束した短納期に対応した校正サービスです。作業日数を1/2に短縮したメニューもお選びいただけます。

ソフトウェア・インストールサービス

アップグレード情報をもとに、お客様自身でインターネット上からダウンロードして行う作業を当社が代行するサービスです。

引き取りサービス[We-MeC(ウィー・メック)]

スマートサポート“We-MeC”のご紹介

“We-MeC”(ウィー・メック)は、お客様へのサービス向上を目的としたWeb利用のサポートシステムです。計測器の校正・修理のご依頼が簡単なだけでなく、「保守サービスのご依頼」とお客様が保有する「計測器の管理」を一元化することにより、手間を省き、計測器の運用管理を確実に、スマートにサポートいたします。

メリット

- 「お見積・ご依頼」を、Webで手続き
- 「お問い合わせ」機能により、“進捗状況”が把握
- 「マイページ」により、Webで“登録機器の管理”
- 校正証明書PDFを随時ダウンロード可能

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

URL: <https://www.anritsu.com/ja-JP/anritsu-customersupport/maintenance/we-mec>



We-MeC トップ画面

修理・校正依頼品の送付先

- アンリツカスタマーサポート株式会社 サービスセンター
〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1
E-mail: wemec-support@zy.anritsu.co.jp
TEL: ☎ 0120-214-012 (046-296-6688)
受付時間: 9:00~12:00, 13:00~17:00,
月~金曜日(当社休業日は除きます)

サービスの保証について

修理サービス

- 修理料金を設定した修理サービス機種
修理完了品納入後3ヶ月です。ただし、診断後、お客様の過失が認められた場合は、実績料金を請求させていただきます。また、当社が定める最低修理料金適用の場合は、費用を請求させていただきます。
- 実績料金の修理サービス機種
修理完了品を納入後3ヶ月以内に、同一現象で同一修理箇所が故障した場合は無償修理とさせていただきます。ただし、診断後、お客様の過失が認められた場合は、実績料金を請求させていただきます。なお、修理サポート中止製品を修理した際の保証はできかねますのでご了承ください。

校正サービス

校正完了品の納入後3ヶ月間の校正作業による校正値の不具合については、無償にて再校正いたします。ただし、故障による不具合あるいは封印ラベルが破損している場合は、対象外とさせていただきます。

製品保証

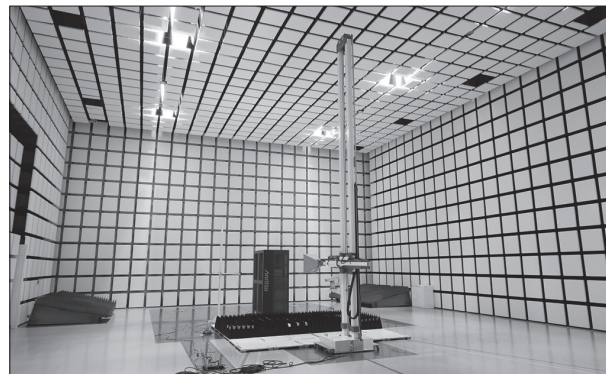
次の事項に該当する場合は修理、校正を辞退させていただくことがあります。

- 製造後7年以上経過した製品で部品入手が困難な場合、または摩耗が著しく修復後の信頼性を維持できないと判断される場合
- 当社の承認なしに当社以外の技術員によって、性能保証シールの開封・破損、機器本体またはユニットを開けて回路変更、修理、改造などが行われている場合
- 校正用設備の確保が不可能な場合

試験サービスの内容

EMC試験

- 放射妨害波測定周波数範囲: 9 kHz~40 GHz
- 2アンテナ法(垂直偏波・水平偏波同時)による高速測定
- NVLAP認定・VCCI登録・FCC認定
- iNARTE認定EMCエンジニアによるEMC試験



電波暗室(EMCセンター)

HALT試験

- -100℃~+200℃の広い温度範囲設定
- 液化窒素と強力ヒータによる50℃/分の急速温度変化
- 686 m/s² (70 Grms) までの6DoF (Degree of Freedom) ランダム振動



HALT試験器

振動試験

- 現実の振動環境を再現する、X、Y、Z方向3軸同時ランダム加振機能
- 振動軸切替機能により、単軸振動試験でも振動方向変更時の載せ換え不要
- 振動プログラム作成により、任意波形の振動発生が可能
- 大規模製品の試験が可能な大型加振台
(拡張版により最大 1,800 mm × 1,300 mm)

測るサービスの内容

各種無線・有線の実測サービス

- アンリツ製測定器を含め各種測定器を使用して、電波環境(電波の強さ、不要電波、電波の干渉など)の調査、通信回線の状況確認などを行います。
- ローカル5Gのエリア内外における電波調査
- Wi-Fi通信障害において、電波環境調査
- 高周波利用設備の電界強度測定
- 通信回線品質(スループット、レイテンシ、ジッタ、フレームロスなど)の評価検証

電波暗室を活用したサービス

各種無線機器の電波送受信における評価を電波暗室にて測定いたします。

- Wi-Fi/Bluetooth機能を搭載した製品の送受信特性評価
- 無線通信機器の電波の強さ、アンテナ指向性などの検証
- 電波反射板の性能評価